

第10回

新技術発表会 in岡山

注目のNETIS 登録技術を紹介

発表対象は、いずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。
メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

日時 **2023.3/6月**
13:00~16:20(受付12:00~)

会場 **おかやま西川原プラザ
大会議室B** 定員 **50人**
(岡山県岡山市中区西川原255番地)

新技術発表会プログラム

13:00~13:05	お知らせ
13:05~13:35	中国地方整備局における新技術活用の取組みについて ／国土交通省中国地方整備局
13:35~14:00	プレストネット工法／株式会社相建エンジニアリング
14:00~14:25	ウェアラブル通信システム ラズビジョン ／インフィニテグラ株式会社、株式会社マコト
14:25~14:35	休憩・換気(10分)
14:35~15:00	土工用リサイクル材料「ナスファインサンド」 ／日本冶金工業株式会社 大江山製造所
15:00~15:25	NDパネル／岡三リビック株式会社
15:25~15:50	レジェンドパイプ工法／レジェンドパイプ工法協会
15:50~16:15	土砂掻き起こし機械(シェイブ)／株式会社篠田興業
16:15~16:20	お知らせ&意見交換



新型コロナウイルス感染対策

行政の指針に基づき、感染対策を講じています。
ご来場の皆様には、マスクの着用や体温測定等
のご協力をお願いいたします。

参加費 **無料**

CPDS・CPD認定プログラム

継続教育 ■全国土木施工管理技士会連合会(3ユニット)予定
■建設コンサルタンツ協会(3単位)予定

申込方法 **ホームページ(URL)**
<https://www.kentsu.co.jp/seminar>

申込期限 **2023年3月1日(水)**
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

アクセス ※公共交通でお越しください



- JR山陽本線 赤穂線 西川原・就実駅下車 北出口 徒歩0分
- 宇野バス東岡山線 西川原(天下一品前)停留所下車 徒歩5分

問い合わせ先

建通新聞社

建通新聞社岡山支社「新技術発表会」係

TEL.086-805-1710

第10回

新技術発表会

概要

1

プレストネット工法

株式会社相建エンジニアリング

崩壊に対する先行抵抗力を保持させておくことにより、崩壊を防ぎつつ完全な自然回復が可能な工法です。従来の工法に比べ、立木を残して自由に配置を計画することができます。

2

ウェアラブル通信システム ラズビジョン

インフィニテグラ株式会社、株式会社マコト

ウェアラブルカメラをスマホに繋いで、遠隔の事務所と映像/音声のやり取りができます。ヘルメット用や安全メガネ用、手振れ補正や360度カメラ等、多様なカメラが使えます。遠隔臨場や巡視、作業支援に有用です。買取またはレンタルで提供できます。

3

土工用リサイクル材料「ナスファインサンド」

日本冶金工業株式会社 大江山製造所

ステンレス原料を製錬する際に発生するスラグを微粒状に粒度調整して盛土、埋戻し等に使用するリサイクル材料で、材料コスト縮減による経済性の向上とリサイクル材料の使用によるリサイクル性の向上が図れる。

4

NDパネル

岡三リビック株式会社

補強材を前面に突出させるための多数アンカー式補強土壁用の壁面材及び連結部材で、従来は壁面材の背面で補強材を連結していた。本技術により補強材の非破壊検査による診断が可能となり、補強土壁の安全性向上及び診断時の作業安全性や施工性の向上が図れる。

5

レジェンドパイプ工法

レジェンドパイプ工法協会

集排水パイプとリターン型掘進機を用いた推進工法による地下水位低下工法。従来技術は集排水パイプ+標準型掘進機による推進工法で対応していた。本技術の活用により1スパン当りの掘進延長が延伸でき到達立坑が不要となるため、施工性及び経済性の向上が図れる。

6

土砂掻き起こし機械(シェイブ)

株式会社篠田興業

歩車道境界ブロック側面に特に固着した土砂剥取りやガッター部と歩道舗装の隙間の雑草刈り機械で従来はスコップを用いて人力による掻き起こし作業であったが、本技術により、機械化施工が可能となり、人力作業が低減し、施工性・安全性が向上した。

お申し込みはインターネット(建通新聞「電子版」)で受け付けます



建通 セミナー

で

検索

または

www.kentsu.co.jp/seminar/

申込受付後
受講票を
送付します。